

栄養クリニック10年のあゆみと現状

平成20年7月、本学の教育研究機関として始動した栄養クリニックも、10年目を迎えた。平成29年7月から平成30年6月までを栄養クリニック10周年記念行事の実施期間とした。ここでは10年間の活動を振り返り、また、今後の栄養クリニックの在り方を考えるため、一般市民からどのような施設と認識され、どのようなことが望まれているのかをまとめた。皆様のご意見、ご指導をいただきながら、今後の活動方針に活かしていきたい。

◆京都女子大学栄養クリニック10年のあゆみ（平成20年度～平成29年度）

平成20年7月	栄養クリニック開設／初代栄養クリニック長 田中 清就任／開設記念式典、開設記念公開講座開催／料理教室、栄養相談、生涯学習、研究会、附小ランチ（H26年度～附小スクールランチ）、大学祭での栄養アセスメント、地域連携事業開始／京大病院IBD患者会料理教室等開催	平成25年度	「食withプロジェクト～レシピ甲子園コンテスト～」開始／「東日本大震災の被災者に対する栄養管理支援プロジェクト」開始（5年間継続）／学生生活センター共催「女子大生のための料理教室」開始／学生生活支援事業「beginner's Cooking School」開始（2年間継続）／NPO法人京滋骨を守る会との共催事業「骨粗鬆症予防のための料理教室」開始
平成21年度	開設1周年記念公開講座開催／水都大阪2009水辺のにぎわいフェスティバル協賛／中信ビジネスフェアへの出展開始／本願寺新報コラム「食と健康の教室」開始（5年間継続 全159回掲載）	平成26年度	京都市あゆみ産院子育ママの会「アレルギー対応食の料理教室」開始（3年間継続）
平成22年度	学園創立100周年記念イベントへの参加／「たんぼ広場の子育て支援」開始（3年間継続）	平成27年度	二代目栄養クリニック長 宮脇 尚志就任／京都私立幼稚園協会東山区・山科区共催研修会「食物アレルギー対応のための学習会」開催／認定NPO法人支援アレルギーネットワーク「アレルギー大学京都講座」開始（3年間継続）
平成23年度	全国栄養クリニック連絡会への参画開始／栄養クリニック公開講座の開始	平成28年度	京都市民病院糖尿病患者対象の料理教室開催／「健康増進のための学習会」開始（3年間継続）
平成24年度	R研究所新築棟への移転／研究棟新築記念式典・新築記念公開講座開催／「高齢者の骨を守るためのケア対策事業」開始／「東山区まちづくり支援事業」開始（平成24年度東山区助成金）／「NPO法人 京滋骨を守る会」の事務局設置（平成28年～認定NPO法人として京都市より認定）／読売新聞社共催「食withプロジェクト」開始	平成29年度	特定保健指導開始／開設10周年記念事業「公開講座」「運動講習会」開催／本願寺共催「食」と「いのち」の取り組み実施

春・夏・秋・冬 レシピBOOK



平成21年度第一版発行
300部
平成22年度増刷
1,500部
平成26年度増刷
1,000部

子育てママ&パパへ食事支援レシピ集

(学童期の食事)



平成26年度第一版発行
2,000部
平成27年度増刷
1,000部

高齢者の食事レシピ集



平成23年度第一版発行
2,000部
平成27年度第二版発行
2,000部

メタボリックシンドロームを

予防・改善しよう！



平成26年度第一版発行
1,000部

子育てママ&パパへ応援レシピ集

(乳児・幼児期編)



平成24年度第一版発行
1,000部
平成25年度増刷
2,000部

貧血予防のガイド&レシピ集



平成27年度第一版発行
2,000部
平成28年度増刷
1,000部
平成29年度第二版発行
2,000部

子育てママ&パパへ食事応援レシピ集

(幼児の食事と偏食)



平成25年度第一版発行
1,500部
平成26年度増刷
1,000部

正しい運動・トレーニングのガイド

～メタボ予防・改善の知恵とコツ～



平成28年度第一版発行
1,000部

骨を元気にするレシピ集



平成25年度第一版発行
2,500部
平成28年度第二版発行
2,000部

栄養クリニック10年のあゆみ



平成29年度発行
1,000部

京都女子大学栄養クリニックの活動に対するアンケート結果

実施日：平成29年10月28日（土）14：00～16：30

実施場所：栄養クリニック開設10周年記念公開講座

対象：公開講座聴講者150名（内118名より回収）（男性21名、女性97名）

アンケート内容：事業内容、イメージ、今後希望する活動、HP閲覧の有無等

Q 栄養クリニックの利用回数について

なし 62%、1～5回 28%、6～9回 6%、10回以上 4%

利用回数なしの方が6割を超え、栄養クリニックの利用回数が少ない集団であった。

Q 栄養クリニックの活動としてイメージの強いものを1位～3位まで順位をつけて下さい。

（料理教室／各種測定／個別栄養相談／講演活動／栄養情報の発信／実践教育の場／食育活動／その他）

上記の設問に対する結果を図1に示す。アンケートの調査対象が公開講座来場者ということもあり、講演活動の占める割合が多かった。

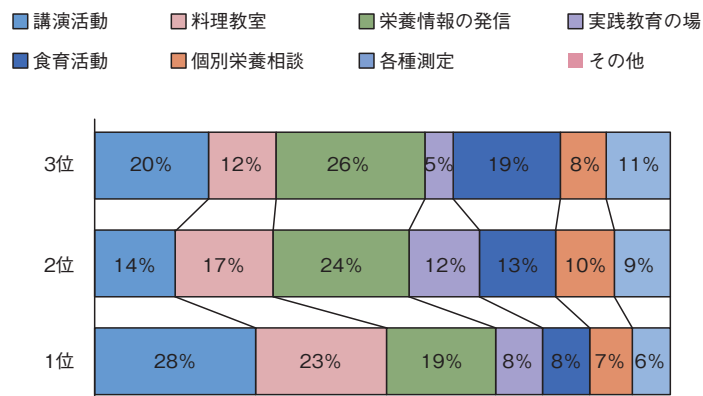


図1 1～3位別に分類した栄養クリニックの活動イメージ

Q 今後希望する事業を上げて下さい。

（東北支援／東山区まちづくり支援事業／栄養情報の発信／料理教室／講演活動／骨密度測定会／身体計測等各種測定／勉強会／個別栄養相談／特定保健指導 複数回答可）

上記の設問に対し、講演活動、栄養情報の発信、身体計測等各種測定、料理教室、骨密度測定会を回答する方が多かった。また、この4つを栄養クリニックでは「地域貢献」として位置付けている。大学の附属研究施設として一般市民の方へ広く情報を発信すること、各種測定を通し健康意識を高める啓発活動は今後も継続していきたいところである。

栄養クリニック講座開催・利用人数について

過去10年の栄養クリニック活動の実施回数、利用者数を次に示すように3つの事業別に分類し、その推移を見てみることにした。

公開講座・地域連携講座（測定会・栄養アセスメントを含む）

栄養クリニックの公開講座は2年毎に開催しており（記念講演は除く）、学内講師、学外講師をお呼びしている。講演活動や栄養情報の発信は多くの方からの要望もあり、また、大学の研究成果の社会への還元の場として今後も継続していきたい。さらには栄養クリニックの特色を持った内容で発展させていきたい。

京都市老人福祉センターでの骨密度測定会も栄養クリニックの事業として5年目を迎えた。各種測定と食生活に関するアンケート調査が定着し、これまで測定会に参加された方（約1,200名）には骨粗鬆症予防の啓発が進んでいると思われる。しかし、測定会の中では時間的な制限があり、実践的なところまでケアができていないのが現状である。今後、測定会・講座・調理実習といった連続した講座を開催するなど、より効果的で成果の上がるものとなるよう検討している。

健康・栄養指導等（料理教室・学習会を含む）

栄養クリニック内で実施している教室の実施回数は栄養クリニックの年間の活動状況に応じて変動するが、平成26年を境に回数が減少しているのは、平成26年から特定保健指導の開始に向けての受け入れ体制や資料の作成、学外での測定の増加、生活習慣病対策への取り組みとして学習会を開催し、学習会が研究成果になるよう測定内容やアンケート内容の検討等が新たな事業として発足したことによる。

また、利用者が固定化しているため、新たな利用者の開拓や栄養クリニックの認知度を上げるための広報を再度行っていく必要がある。

学内連携・在学生・卒業生向け事業

学内教育はH25年度より学生生活センターと年3回の学生向けの料理教室を継続的に実施することにより安定的に実施している。また、平成20年度より附小ランチ、平成26年度より附小スクールランチを食物栄養学科の栄養教諭を目指す学生を中心に、様々な食育活動を継続的に実施し、大きな成果を上げている。

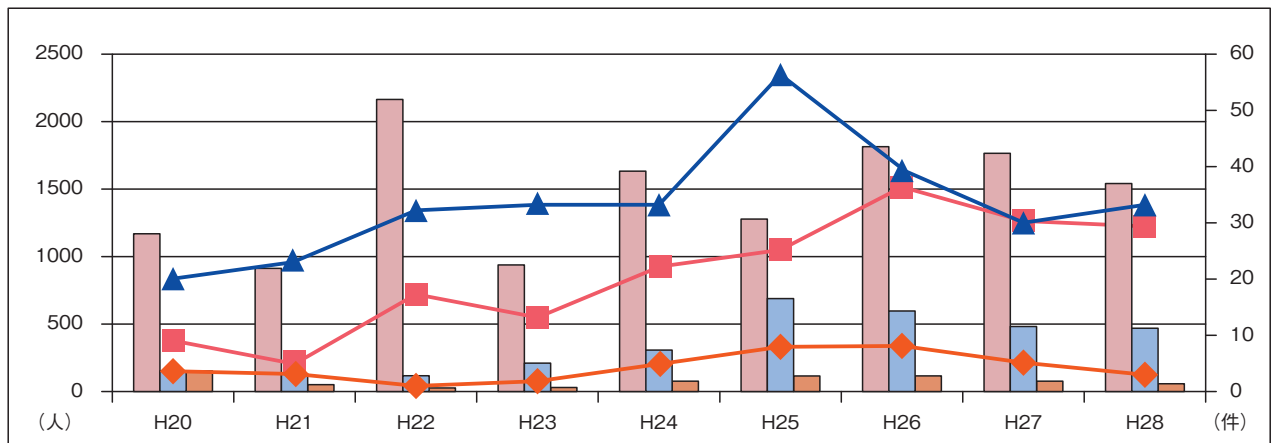


図2 「公開講座・地域連携講座等」、「健康・栄養相談等」、「学内連携・在学生・卒業生向け」人数および件数

- 公開講座・地域連携講座等 人数
- 健康・栄養指導等 人数
- 学内連携・在学生・卒業生向け 人数
- 公開講座・地域連携講座等 件数
- ▲ 健康・栄養指導等 件数
- ◆ 学内連携・在学生・卒業生向け 件数

(須貝さゆみ)